

愛南 びやびや祭り2016



わら焼きのカツオのたたきは、愛南漁協の職員の皆さんが早朝から焼き続けます。わらの強い炎がカツオの旨みを引き立てます。香ばしい匂いに誘われて会場には長蛇の列ができました。

今年も目玉はカツオの一本売り。朝早くから大勢の人が行列を作り、販売開始と同時に勢いよく新鮮なカツオを買い求めました。



昨年に引き続き兵庫県篠山市から特産の丹波篠山黒大豆の加工品やイノシシ肉を使った「ししフランク」が出品され好評を博しました。愛南町は、現在、篠山市と災害時相互応援協定を結んでいます。今年8月にはより幅広い交流へ発展させるため、篠山市を訪れて姉妹都市提携を行う予定です。

愛南町の旬の特産品をPRする愛南びやびや祭り2016（愛南食のイベント実行委員会主催）が今年も南レクロッジ駐車場で盛大に開催されました。カツオの一本売りコーナーでは、前日に水揚げされた2,000匹、約4.5tのカツオが浜値で販売され、新鮮なカツオを求める買い物客で行列ができました。

特産品販売コーナーでは、カツオの刺身やわら焼きのたたき、まぐろの刺身やヒオウギ貝の浜焼き、愛南ゴールド（河内晩柑）など、新鮮な水産物や農産物、愛南町ならではの郷土料理など、数多くの自慢の品々が販売されました。

また、特設ステージでは、ご当地キャラクタースイッチョー、愛の葉カールズミニライブ、愛媛大学生企画の「ウルトラクイズぎょシヨック」などが行われ、祭りの会場は終日、大勢の方で賑わいました。

カツオの一本売りを目当てに会場を訪れた西予市の吉村さんは「6kgの大きなカツオを買うことができラッキーだった。来年はもっと早く来たい。」とうれしそうに話しました。



東海小学校の5、6年生が「なーしくん」のお面をかぶって愛南ゴールドの生しほり体験をお手伝いしました。



愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」をはじめ、国体みきやんや東温市の「いのとん」など11体のキャラクターが集合して祭りを盛り上げました。



第2会場で行われたSUP（サップ）体験。子どもたちは短時間で立ち上がって海上散歩を楽しんでいました。



愛媛の農業・産業・地域が素敵な花を咲かせるお手伝いをするための農業発信ガールズチーム「愛の葉ガールズ」。ミニライブのあとは、販売ブースを手伝って祭りを盛り上げてくれました。

「びやびや」とは、「新鮮な」とれたてという意味の愛南町の浜言葉です。来場者の皆様には、とれたての「海の幸」や「山の幸」、そして愛南町の人情味あふれる豊かな風土を十分味わっていただけたのではないのでしょうか。

